

第8回

日本静脈経腸栄養学会

北海道支部例会

支 部 長 信岡 隆幸 (札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座)
当番世話人 倉 敏郎 (町立長沼病院 内科消化器科)

日時：平成27年1月25日(日)

午前9時30分～午後3時00分

場所：ホテルさっぽろ芸文館 3階 瑞雪の間

札幌市中央区北1条西12丁目

1. 発表時間：口演時間5分 討論時間2分 (時間厳守)
2. シンポジウム：口演時間5分 (時間厳守)
3. 発表形式：全演題PCプレゼンテーション
(詳細は裏面に記載がございます)

JSPEN 日本静脈経腸栄養学会北海道支部会事務局

札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座内
〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
TEL：011-611-2111 (内線3281)
FAX：011-613-1678

参加の方々へのご案内とお願い

1. 開 場

受付、PCデータ受付は午前8時30分より開始します。

2. 参 加 費

ホテルさっぽろ芸文館3階の受付で参加費(医師2,000円、医師以外1,000円)を納め、
ネームカード(参加証、領収書兼用)を受け取り、氏名・所属をご記入ください。

3. 発 表

- ・発表は、パソコンによるプロジェクター1面映写(解像度はXGA 1024×768)です。
- ・事務局で用意するパソコンの OSはWindows 7、対応するアプリケーションソフトはWindows版 Microsoft Power Point2000, 2003, 2007, 2010, 2013です。
- ・動画を利用して講演をされる場合は、ご自身のパソコンをご用意ください。
- ・音声のご使用はできません。
- ・発表開始30分前までにデータ及びパソコンをPCデータ受付にて確認をお願いします。

●メディアをご持参の場合

- ・発表データは、CD-RまたはUSBフラッシュメモリーをご用意ください。
- ・フォントはWindows標準フォント(MS・MSP明朝、MS・MSPゴシック、Time new Roman、Century等)をご使用ください。
- ・事務局で用意したパソコンにコピーし、動作の確認をお願いします。メディアは、その場でご返却します。発表データは本会終了後、本会事務局が責任をもって消去します。
- ・発表データのファイル名は『演題番号-名字』で保存してください。
例: 43-鈴木

●パソコンをご持参の場合

- ・事務局で用意するのは、通常のMini D-sub15ピンに対応する端子のみとなります。
Mini D-sub15ピンに変換が必要なパソコンの場合は、必ず変換コネクタをご持参ください。
(発表、準備中にバッテリー切れになる場合がございます。電源アダプターも必ずをご用意ください。)
なお、PC本体と付属非は、発表終了後、会場内で返却します。
- ・スマートフォン、i-pad等でのデータ持込み及びHDMIでの送付は対応していません。
- ・パソコンのスクリーンセーバー、省電力機能、ウイルス駆除ソフト等が作動しないように設定をご確認ください。

●ご発表について

- ・発表開始時間の15分前までに、次演者席に着席ください。
- ・発表時間は、5分、質疑応答は、2分です。スライド枚数の制限はございませんが、発表時間を厳守してください。舞台上にモニター、マウス、キーボードをご用意しておりますので、ご自身で操作し発表してください。(レーザーポインターは事務局でご用意しております。)
- ・発表中は青色ランプ、終了1分前に黄色ランプ、終了時に赤色ランプが点灯します。

ランチオンセミナー

1月25日(日) 12:00~13:00

ホテルさっぽろ芸文館 3階 瑞雪の間

『医療の再構築に PEG を活かす！』

講師：上野 文昭

大船中央病院 特別顧問

司会：倉 敏郎

町立長沼病院 内科消化器科

共催：第8回日本静脈経腸栄養学会北海道支部会
株式会社大塚製薬工場

プログラム

開会の辞 9:30~9:35

町立長沼病院 内科消化器科 倉 敏郎

Session 1 9:35~10:10

座長 市立室蘭総合病院 外科消化器外科 佐々木賢一
札幌清田病院 栄養課 岩田 園美

1. 経腸栄養に伴う下痢対策にハイネーゲル®が有効であった1症例

札幌医科大学附属病院 NST

○三木彩子、荒川朋子、巽 博臣、茅原悦子、白石沙耶可、尾形早百合、本間野の子
秋月恵美、水野愛理、高橋和也、後藤真希、舘山三紀子、角谷真由美、信岡隆幸
平田公一

2. 乳酸カルシウム投与はハイネーゲルの胃内ゲル化を促進する

札幌清田病院 消化器内科¹⁾、NST²⁾、外科³⁾、内科⁴⁾

○村松博士^{1,2)}、岩田園美²⁾、細貝智一²⁾、藤原朱美²⁾、久保朋子²⁾、岡本哲郎¹⁾、矢野智之³⁾
後藤義朗⁴⁾、西里卓次⁴⁾

3. 透析患者において経腸栄養管理を行い低K血症が改善した1症例

社会医療法人 中村記念病院 栄養課¹⁾、看護部²⁾、薬剤部³⁾、脳神経外科⁴⁾

○伊藤洋平¹⁾、山田和佳子¹⁾、宮崎裕子²⁾、白川夕紀子³⁾、村橋威夫⁴⁾

4. 透析患者に成分栄養剤とシスチン・テアニンを経口投与した症例

栗山赤十字病院 医療技術部栄養課¹⁾、外科²⁾

○真井睦子¹⁾、阿部元輝²⁾

5. 肝切除術後の栄養管理の一例

砂川市立病院 NST¹⁾、内科²⁾、

○山川美和¹⁾、渡部直己^{1,2)}、島本真純¹⁾、新崎祐馬¹⁾、扇谷祐輝¹⁾

Session 2 10:10~10:45

座長 登別厚生年金病院 外科 中村 誠志
栗山赤十字病院 医療技術部栄養課 真井 睦子

6. 短腸症候群による高度栄養障害を伴う胃癌患者の術前栄養管理

北海道大学病院 NST¹⁾、栄養管理部²⁾、薬剤部³⁾、検査・輸血部⁴⁾、看護部⁵⁾、消化器外科 I⁶⁾
消化器内科⁷⁾、北海道大学薬学部⁸⁾

○池田陽子^{1,2)}、高崎裕代^{1,2)}、山本千秋^{1,3)}、道又理恵^{1,4)}、高橋香代子^{1,4)}、川口朋香^{1,4)}
菅野 香^{1,5)}、柴崎 晋⁶⁾、川村秀樹⁶⁾、武富紹信⁶⁾、武田宏司^{1,2,7,8)}

7. 特別な栄養管理の有無の判断は適切に行われているか？

札幌医科大学附属病院 医療連携・総合相談センター 栄養管理係¹⁾、NST²⁾

○荒川朋子¹⁾、巽 博臣²⁾、三木彩子¹⁾、尾形早百合¹⁾、茅原悦子¹⁾、白石沙耶可¹⁾
本間野の子¹⁾、石崎千順²⁾、伊藤博子²⁾、舘山三紀子²⁾、川村明子²⁾、秋月恵美²⁾
井山 諭²⁾、信岡隆幸²⁾、平田公一²⁾

8. NST 介入で経口栄養確立した嚥下障害のある精神疾患患者の一例

JCHO 登別病院 言語聴覚室¹⁾、NST²⁾、外科³⁾、栄養部⁴⁾、理学療法室⁵⁾、作業療法室⁶⁾

○佐久間悠¹⁾、中村誠志^{2,3)}、土屋浩子^{2,4)}、石井亮太^{2,5)}、古沢麻里奈^{1,2)}、佐々木恵梨^{1,2)}
真崎玲奈⁵⁾、柴 淑枝⁶⁾

9. 栄養介入に関し導入した主治医意向確認シールの効果

旭川リハビリテーション病院 消化器科¹⁾、栄養課²⁾、看護部³⁾、内科⁴⁾

○浅間俊之¹⁾、高橋美穂²⁾、安田理恵²⁾、松本朋子³⁾、石川広子³⁾、三好奈津枝³⁾、青島 優¹⁾
丸山純一⁴⁾

10. 低 Na 血症の現状とプロトコル作成の意義

社会医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院 薬剤科¹⁾、看護部²⁾、栄養科³⁾、地域連携室⁴⁾
心臓血管外科⁵⁾、循環器内科⁶⁾、心臓リハビリテーション室⁷⁾

社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院 総合診療センター⁸⁾

○高橋 豊¹⁾、飯坂美香¹⁾、渡邊なつき²⁾、鈴木愛実³⁾、河村奈緒子³⁾、田村美香³⁾
皆川七穂⁷⁾、今井智瑛⁴⁾、菊池康重²⁾、須藤絢支郎²⁾、澤田沙織²⁾、春原伸行⁸⁾
杉木宏司⁵⁾、大艸孝則⁶⁾、櫻井正之⁶⁾

Session 3 10:45~11:20

座長 中島病院外科 星 智和
函館五稜郭病院 栄養サポート室 吉澤 恵子

11. 当院における ERAS の導入

帯広協会病院 外科¹⁾、栄養科²⁾、リハビリテーション科³⁾、看護科⁴⁾、検査部⁵⁾、薬剤部⁶⁾
事務⁷⁾

○渋谷一陽¹⁾、永生高広¹⁾、堀川静香²⁾、田岡桂子⁴⁾、須藤英樹⁵⁾、加藤明子³⁾、大和谷嘉胤⁶⁾
小野武史⁷⁾、関口 暁⁷⁾、棚瀬 薫⁴⁾、中村 翼⁴⁾、篠田雅和⁶⁾、及能健一¹⁾

12. 地域連携をめざした室登 NST 研究会“ツナガル”の活動報告

市立室蘭総合病院 栄養科¹⁾、医修会 大川原脳神経外科病院 NST²⁾、千寿会 三愛病院 NST³⁾
市立室蘭総合病院 NST⁴⁾、製鉄記念室蘭病院 NST⁵⁾、JCHO 登別病院 NST⁶⁾
洞仁会 洞爺温泉病院 薬局⁷⁾

○川畑盟子^{1,4)}、水谷一寿⁷⁾、山口裕之²⁾、田島 光²⁾、石川圭吾²⁾、市橋久子³⁾、安達輝重³⁾
前田征洋⁵⁾、鈴木順子⁵⁾、下国 心⁵⁾、高田浩代⁵⁾、中村誠志⁶⁾、土屋浩子⁶⁾、石井亮太⁶⁾
佐々木賢一⁴⁾

13. 食事形態の共有を目指した取り組み～西胆振地区と後志地区の連携

医療法人社団洞仁会 洞爺温泉病院 栄養課¹⁾、内科²⁾

○上杉梨沙¹⁾、藤岡琴美¹⁾、奥山ちひろ¹⁾、三上淳一²⁾、中谷玲二²⁾

14. 当院の嚥下調整食の改訂と旭川地区嚥下食マップ作成に向けて

旭川赤十字病院 医療技術部 栄養課¹⁾、医療技術部 リハビリテーション科²⁾、外科³⁾
糖尿病・内分泌内科⁴⁾

○長瀬まり¹⁾、前川奈都子¹⁾、田辺亜梨沙¹⁾、幅口愛美¹⁾、雨塚 萌¹⁾、神田暢子¹⁾
中嶋美緒¹⁾、佐々木智子¹⁾、難波志奈²⁾、平 康二³⁾、森川秋月⁴⁾

15. 継続した訪問食事指導により80代高齢者の食生活を改善した症例

栗山赤十字病院 医療技術部栄養課¹⁾、ケアプランセンターくりやま²⁾
ヘルパーステーションプロケアすばる³⁾、ガーデンハウスくりやま⁴⁾
株式会社マルベリーさわやかセンター岩見沢⁵⁾、栗山赤十字病院 内科⁶⁾

○真井睦子¹⁾、林 美保²⁾、足永潤子³⁾、山本邦男⁴⁾、太田宗昇⁵⁾、五十川晋⁶⁾

Session 4 13:10～13:45

座長 函館五稜郭病院 目黒 英二
市立室蘭総合病院 栄養科 川畑 盟子

16. 栄養スクリーニングに及ぼす Alb 測定法変更の影響

札幌医科大学附属病院 NST¹⁾、検査部²⁾、集中治療医学³⁾、第1外科⁴⁾、栄養管理係⁵⁾
薬剤部⁶⁾、歯科口腔外科⁷⁾

○後藤真希^{1,2)}、梅森祥央^{1,2)}、巽 博臣^{1,3)}、秋月恵美^{1,4)}、信岡隆幸^{1,4)}、荒川朋子^{1,5)}
茅原悦子^{1,5)}、白石沙耶可^{1,5)}、三木彩子^{1,5)}、高橋和也^{1,6)}、水野愛理^{1,7)}、平田公一^{1,4)}

17. 摂取窒素源の違いによる頭髪中の窒素と炭素安定同位比の変化

札幌東徳洲会病院 薬剤部¹⁾、北海道医療大学 薬学部²⁾、町立長沼病院 内科消化器科³⁾
聖ヶ丘病院 薬剤部⁴⁾、北成病院 内科⁵⁾、北成病院 薬剤部⁶⁾

○早坂敬明¹⁾、木村 治²⁾、倉 敏郎³⁾、塚越建介⁴⁾、垂水隆志⁵⁾、堀田洋平⁶⁾、小笠原英樹¹⁾
武田清孝¹⁾、遠藤哲也²⁾

18. 演題取り下げ

19. ビフィズス菌末により腸内環境が改善した糖尿病性神経障害の一例

医療法人 北志会 札幌ライラック病院¹⁾、(株)ブライアンブルー²⁾

○仲野笑子¹⁾、志田勇人¹⁾、本庄恭補¹⁾、大島美奈子²⁾

20. PHGG 高配合の栄養剤により血糖・血清脂質値が改善した一例

医療法人社団 刀圭会 協立病院 管理栄養士¹⁾、看護師²⁾、医師³⁾

○伊藤望¹⁾、土井川令子²⁾、伊林克也³⁾

Session 5 13:45~14:13

座長 時計台病院 緩和ケア内科 児玉 佳之
時計台病院 栄養課 市場 尚子

21. 脳卒中後の経管離脱・普通食移行状況 第一報

中村記念病院 耳鼻咽喉科

○小西正訓

22. 脳卒中後の経管離脱・普通食移行状況 第二報

中村記念病院 耳鼻咽喉科

○小西正訓

23. 嚥下調整食分類2013に即した当院における嚥下食への取り組み

札幌医科大学附属病院 医療連携・総合相談センター 栄養管理係¹⁾、NST²⁾

○尾形早百合¹⁾、巽 博臣²⁾、荒川朋子¹⁾、本間野の子¹⁾、茅原悦子¹⁾、白石沙耶可¹⁾

三木彩子¹⁾、土岐めぐみ²⁾、石崎千順²⁾、相原伸子²⁾、海崎 文²⁾、信岡隆幸²⁾、平田公一²⁾

24. NST 介入患者における Cu 及び Zn と栄養学的指標の関連性

北海道大学病院 検査・輸血部¹⁾、北海道大学大学院薬学研究院 臨床病態解析学分野²⁾

○藤田和華子¹⁾、安田慶子¹⁾、小林美穂¹⁾、市川絢子¹⁾、宇佐美貴之¹⁾、岩崎澄夫¹⁾

高橋香代子¹⁾、和田妙子¹⁾、道又理恵¹⁾、大沼麗子¹⁾、渋谷 斉¹⁾、清水 力¹⁾、武田宏司²⁾

Session 6 14:13~14:55

座長 札幌清田病院 消化器科 村松 博士
市立室蘭総合病院 看護局 古内久美子

25. 経鼻チューブに沿って出来た食道～胃の炎症・粘膜損傷の1例

函館五稜郭病院 NST

○目黒英二、吉澤恵子、村田 彩、斉藤理恵、坂野亮子、山中博貴、赤平祐一、高坂久美子
伊藤由紀子、蛇名抄織、佐藤孝男

26. 胃瘻による経腸栄養管理が奏功した3例～胃瘻選択の効果～

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 医療技術部栄養科¹⁾、NST²⁾、消化器内科³⁾、神経内科⁴⁾ 精神科⁵⁾

○氏家真梨^{1,2)}、柳澤秀之^{2,3)}、保前英希^{2,4)}、吉永敏弘^{2,5)}、百町健吾^{2,5)}

27. NG チューブ挿入後経口摂取が可能となり QOL を向上できた一例

済生会 小樽病院 栄養管理室¹⁾、NST²⁾、緩和ケアチーム³⁾、看護部⁴⁾、薬剤室⁵⁾ 内科⁶⁾、外科⁷⁾

○東 紗貴^{1,2,3)}、石渡明子^{3,4)}、藤原大地^{3,4)}、鈴木景就^{2,3,5)}、明石浩史^{2,3,6)}、木村雅美^{2,3,7)} 長谷川格^{2,7)}

28. あいーと等の経口摂取が可能であったがん終末期イレウスの1例

社会医療法人社団カレスサポート 時計台記念病院 栄養科¹⁾、緩和ケア内科²⁾

○市場尚子¹⁾、児玉佳之²⁾、工藤綾乃¹⁾、佐々木望¹⁾、川岸志津¹⁾、鶴原領子¹⁾、小西徹夫²⁾

29. 当院における後期高齢者の大腰筋断面積評価

市立室蘭総合病院 NST 外科¹⁾、臨床検査科²⁾、リハビリテーション科³⁾、栄養科⁴⁾、薬局⁵⁾

○宇野智子¹⁾、吉田ちひろ²⁾、河原林治朗²⁾、高橋利紀²⁾、吉田倫子²⁾、前田有一郎³⁾ 川畑盟子⁴⁾、林 元子⁴⁾、早坂ゆかり⁴⁾、宮ヶ丁彩子⁴⁾、川野夕花里⁴⁾、浅野由美子⁵⁾ 寺田厚志⁵⁾、奥谷浩一¹⁾、佐々木賢一¹⁾

30. がん終末期患者における大腰筋面積に関する検討

時計台記念病院 緩和ケアセンター¹⁾、消化器センター²⁾、栄養科³⁾、リハビリテーション部⁴⁾

○児玉佳之¹⁾、小西徹夫^{1,2)}、市場尚子³⁾、川岸志津³⁾、佐々木望³⁾、工藤綾乃³⁾、鶴原領子³⁾ 長岡康裕²⁾、青木景資⁴⁾

閉会の辞 14:55～15:00